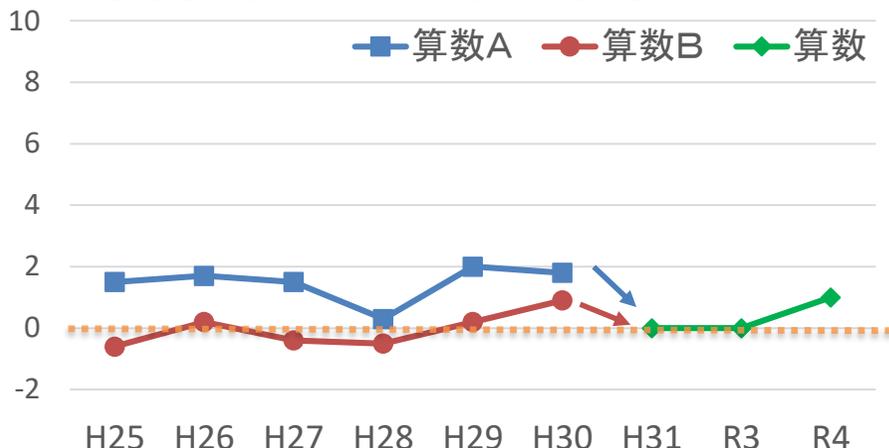


結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



○全国平均を上回った。

2 領域別の結果

学習指導要領の領域	県	全国平均
A 数と計算	70.7	69.8
B 図形	64.4	64.0
C 測定	対象問題数0のため数値なし	
C 変化と関係	51.4	51.3
D データの活用	68.8	68.7

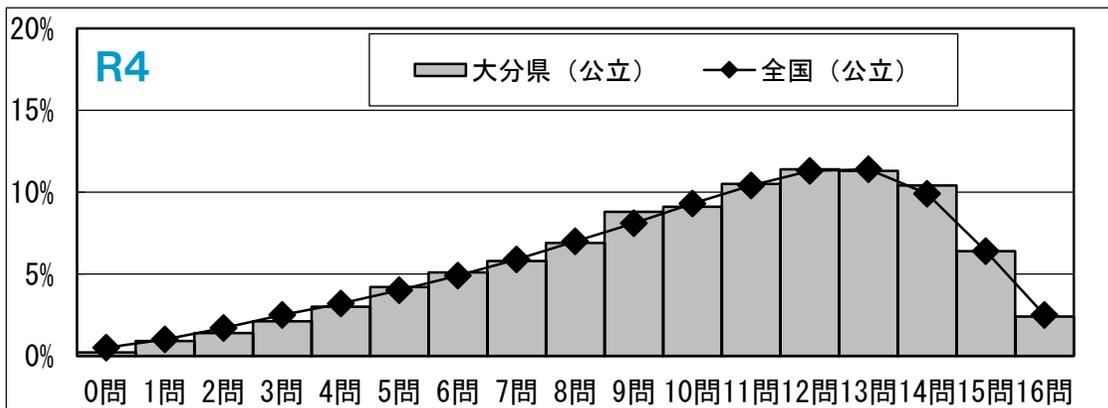
○全領域で全国平均を上回る。

3 観点別の結果

観点	県	全国平均
知識・技能	68.8	68.2
思考・判断・表現	57.2	56.7

○「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点で全国平均を上回る。

4 正答数度数分布



○低学力層の児童の割合(正答率20%以下)が全国平均より少ない。

○正答数が全国平均以上(10問以上)の児童は61.5%であり、全国値61.2%を上回る。

課題が見られた問題と指導の改善

正答率が低かった問題

大問1(4) 【大分県平均正答率32.9%】

日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、数量の關係に着目し、数の処理の仕方を考えることができるかどうかをみる問題。

(4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



くるみ 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることは、 85×21 をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

85×21 の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します。
- イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します。
- ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します。
- エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します。

1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 85×21 で求めることができます。

解答類型		県	全国
正答	ア と解答しているもの	正答率 32.9%	正答率 34.8%
誤答例	ウ と解答しているもの 85と21をそれぞれ一の位の数を四捨五入し、十の位までの概数にして計算するとよいと考え、目的に合った概数にして計算する方法を選ぶことができていると考えられる。	反応率 52.6%	反応率 49.8%
	エ と解答しているもの 「必ず大きくなる」という言葉から、85と21をそれぞれ一の位の数を切り上げて十の位までの概数にして計算するとよいと考え、目的に合った概数にして計算する方法を選ぶことができていると考えられる。	反応率 8.9%	反応率 9.3%

指導の改善

【学習指導のポイント】

目的に合った数の処理の仕方を考えることができるようにする。

○ 日常生活において、数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて数を大きくみたり小さくみたりして、概算できるようにすることが重要である。

その際、切り上げ、切り捨て、四捨五入のどの方法が適切であるかを判断できるようにすることが大切である。

○ 指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット1箱分の1470円では、どちらの方が高いかを予想し、確かめる活動が考えられる。

85×21の85と21を概数にして見積もる際には、概数にして計算した結果と、実際の数の積との大小関係について、数直線を使って話し合うなどの活動が考えられる。



「切り捨て」では、 85×21 が 80×20 となり、被乗数と乗数が実際の数より小さくなるため 80×20 は 85×21 よりも必ず小さくなる。